

広報
9月号

東京都製紙原料協同組合

発行所
東京都製紙原料協同組合
台東区台東3-16-1
TEL (3831) 7980
発行人 赤染清康
編集 広報部



「秋の平等院」

時の視点

これからの内外の古紙市況の行方
(前)古紙ジャーナル社 編集長 本願雅史

時の話題

製本工組との古紙関係協議会 4~6
東京返本加工協同組合 第53回 通常総会開催 6~7
T P I C O 個人情報保護体制制度 7~8
直納部委員会及び納涼会 8~9
製本工組・親睦ゴルフ大会
文京支部 梨本竜範 9
青年部ゴルフコンペ
足立支部 近藤英彰 9
清風会研修会及び納涼会 10

支部便り

台東支部 総会開催
台東支部 近藤達也 10
山手支部研修旅行開催
山手支部 篠田定義 10~11
組合員の広場
組合事業紹介・事業部 11
「古紙用語」 12
支部スケジュール 12~13
お知らせ 「10月会議」「古紙価格」 13
会議概要 [6月・7月] 13~18
編集後記 広報部副部長 高橋宏明 19
広 告 20~30

時の視点

これからの内外の古紙市況の行方

(有)古紙ジャーナル社 編集長 本願雅史

今年の古紙需給は、①中国の輸入規制、②米中の貿易戦争、③相次ぐ自然災害という予想外の事態に巻き込まれ、混迷極まるばかりです。古紙取引は「生き物のようだ」とよく言いますが、これほど目まぐるしい変化の年も珍しいでしょう。

まずは中国の規制に関して、今年のこれまでの流れを整理してみます。1月にMIX古紙が完全に輸入禁止となり、3月に禁忌品0.5%未満まで品質基準を強化し、5月からCCIC、通関検査を厳格化、7月には2020年末に古紙輸入禁止の方針発表、8月まで固形廃棄物環境法の改正と中国政府が規制の手綱を緩めるそぶりはありません。

米国品の古紙については、米中の貿易戦争に巻き込まれ、まさに狙い撃ちの様相です。3～4月にかけてシップバック頻発、5月に一時輸入禁止、6月から100%税関検査強化、8月に25%の追加関税と、これまで考えられないほど厳しい措置がとられました。皮肉にも米国品への風当たりが強まるほど、日本品への代替需要が高まりました。特に5月以降は輸出向けの価格、販売数量が劇的に回復したのです。

価格面で底値だったのが3～4月にかけてです。段ボール古紙で\$150～160、MIX古紙は\$100ドルを割りました。先行きが見えない中、MIXをいわゆる#10(OMG)として品質改良したグレードで輸出を試み、他の古紙も新ルール品の品質要求に従い、輸出を継続してきたのです。

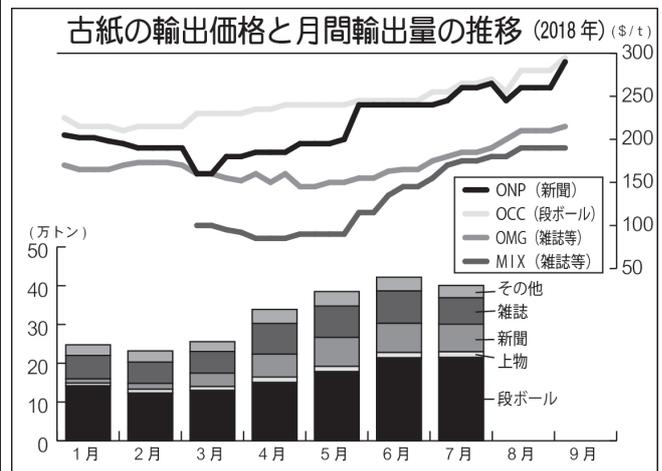
1～4月までの輸出量は月間平均27万トンでしたが、5～7月には40万トンまで急伸。4月まで積み上がった在庫の反動からか、5月以降、輸出量が激増したのです。新聞古紙は5月に約5

年ぶりに7万トン台に乗せたかと思えば、それが3カ月間も続きました。段ボール古紙も6月に18万トン台、7月にも約4年ぶりに20万トン台に乗せました。その結果、問屋在庫は7月末までにピーク時に比べ4割減りました。

一転して逼迫感が強まり、焦燥感を募らせたのが国内メーカーです。プレミアム価格を上乘せして、調達せざるを得なくなり、9月には輸出価格に近い価格も散見されています。追い打ちをかけるように、大型台風が関西地区を直撃し、北海道でも地震・停電に見舞われ、ますます需給のバランスが崩れています。被災地で発生が落ちるため、逼迫感が強まり、解消までしばらく時間を要するとみられます。

今年の中国の古紙輸入規制に関する主な動き

年月	主な出来事
2018年1月	MIX古紙が輸入禁止に
1月	OMG(#10)による雑誌グレードの輸出開始
3月	古紙の夾雑物の基準が1.5%から0.5%以下に強化
4月中	規制強化後、初めて日本の古紙がシップバック。OCC約350トンにファイバードラム(口金付き紙管)が混入
5月4日	米国から出荷される古紙のCCICの検査が1カ月停止。事実上、輸入禁止に
5月22日	米国品がカナダCCICを経由して輸出が可能に
6月22日	米国CCICの自主検査制度を完全撤廃。100%の立ち合い検査が必要に
6月23日	中国の国务院が公表した環境政策の中で、2020年末をもって、古紙の輸入をゼロにする方針を示した
6月27日	中国の税関総署が来年の通関手続きを22港から18港に限定することを発表
7月中	中国の製紙メーカーが古紙不足で相次ぎ減産
7月17日	中国の生態環境部が固形廃棄物汚染環境防止法の改正案を公表。8月18日までパブリックコメントを受け付けた
8月1日	中国の古紙利用メーカーは再登録の申請が必要に
8月中	日本品の古紙(SOP)1トンに牛乳パックが混入し、シップバック
8月23日	中国政府が米国古紙に対して25%の追加関税を発動
9月6日	中国の環境保護部は第19期の輸入ライセンスを発行。これまで計1,456万トンが発行された



どうなる？今後の古紙市況

今後の古紙市況については、まず中国による日本品の高値買い、輸入増もいつまで続くのか？という懸念があります。予想が難しい中で、短期的には来年の中国の輸入古紙需要がどのくらいになるかが焦点になりそうです。今年の中国の輸入ライセンス（I/L）も大幅に減り、9月7日までに1456万トンが発行されました。これは去年の53%に過ぎず、輸入量の実績も1-7月までの合計で853万トンと昨年より半減しています。通年ではI/L発行が1600~1800万トンで、輸入量は1500万トン弱になるとみられます。中国政府は2020年末をもって古紙の輸入は全面禁止にする方針を公表しており、来年はさらに輸入量を減らし、1000万トンを割ることすら想定されます。つまり、中国の輸入古紙の需要が減っていくことを前提に、I/Lを潤沢にもつ一部大手メーカーに、市況が大きく左右されそうです。

二つ目に注目されるのが東南アジア諸国の動向です。今年、中国向け輸出が制約される中で、バッファの役割を果たしてきました。中国向けと\$30~50ほどの価格差もありますが、ダブついた古紙を買い支えてきました。ところが、低品

質品が流入することで、中国同様に環境汚染への懸念が広がり、輸入規制の動きも広がっています。これまで再生資源の輸入規制強化へ動いたのが、ベトナム、タイ、マレーシア、台湾の4カ国です。

主眼はあくまで廃プラの規制ですが、古紙にも輸入ライセンスが制限されたり、税関検査が強化されたりするなど、影響を受けつつあります。東南アジアでの堅調な古紙需要が期待されながらも、各国の方針次第で、販路が阻まれうるといわれています。

三つ目は、問屋の「国内ファースト」の販売姿勢が薄れつつあることです。海外と国内メーカーの垣根が低くなり、「どこが買い支えてくれるか」という観点で販売先を考えるようになってきました。事実、5月以降の輸出の増加は、単に反動とみるには数量が多過ぎました。国内メーカーが購入量を絞った上、輸出上位の価格体系となれば、問屋も背に腹は変えられません。某メーカーの調達責任者が突然の異動にあうなど、メーカーと古紙問屋との信頼関係も揺らいでいるようです。

今後の国内メーカーの調達姿勢に拠っては、ますます国内離れが加速し、需給バランスが乱れたり、市況変動も激しくなったりすることも想定されるでしょう。

東南アジア諸国における再生資源の輸入規制の動き

国	規制の内容	背景
ベトナム	<ul style="list-style-type: none"> 6月1日から同市内にあるカットライ港とヒェップフック港の2つの港で、廃プラと古紙の受入を一時制限。 6月26日に各税関支局に対して、改めて輸入廃棄物を100%検査する文書を出し、輸入廃棄物の検査管理強化を指示 	<ul style="list-style-type: none"> ホーチミン市にあるカットライ港の再生資源の品目積載の貨物量が7,000TEU（20フィートコンテナ換算単位）以上に達した ホーチミン市内の港湾で約4,480個（うちカットライ港が約3,500個）、ハイフォン港で約1,200個が滞留。貨物の約8割が廃プラスチック、約2割が再生紙原料だった
タイ	<ul style="list-style-type: none"> 6月22日から廃プラスチック、電子廃棄物を禁輸 国連の世界環境デー（6月5日）に、タイ国内の20以上の企業や政府機関で、プラスチックごみを2027年までに半減させる覚書を締結。 	<ul style="list-style-type: none"> 5月にバンコクに近いチャチェンサオ県で中国系の違法リサイクル業者が摘発 レムチャバン港で日本から違法に輸入されようとしたパチンコ台のスクラップを積んだコンテナ貨物が発見されるなど、電子廃棄物の輸入急増
マレーシア	<ul style="list-style-type: none"> 7月に廃プラの輸入ライセンス事業者をすべて再検査 7月23日から3カ月間、廃プラを輸入する114の企業および工場に対して発行した輸入許可書（AP）を使用停止 新基準に基づく輸入許可証の再申請が必要となるが、新たな申請基準の発表時期は未定 	<ul style="list-style-type: none"> セランゴール州クアラ・ランガットにおける深刻な環境汚染の原因が廃プラ処理工場にあると報道された 廃プラの輸入許可証は、2015年2月から住宅・地方自治省傘下の国家固形廃棄物管理局が発行し、有効期限は1年間。使い切りで、船積みごとに申請する必要がある
台湾	<ul style="list-style-type: none"> 8月13日に輸入規制案を発表。今年10月に施行。草案に対し60日間、意見を募集している 草案段階では、輸入可能な古紙は、海外の自社関連工場で発生したもので、段ボール古紙とクラフト古紙又はほぼ雑物が含まれないものに限っている 	<ul style="list-style-type: none"> 今年の第1四半期に、廃プラの輸入量が2.5倍に増加。日本、米国、英国、フィリピン、メキシコ、ドイツなどから急増中 輸入再生資源の残渣物による環境汚染が懸念され、台湾の環境保護局（EPA）が、古紙と廃プラの輸入規制を提起

※資料：JETRO（日本貿易振興機構）のWEBサイトや各国の地元メディア報道を元に本紙作成

時の話題

製本工組との古紙関係協議会

平成30年8月1日(水)午後4時30分～
於)製本工組 会館会議室

出席者: 東京都製本工業組合 15名
東京都製紙原料協同組合 10名

代表者挨拶

田中 理事長 (東京都製本工業組合)

昨日で終了したアイガスの入場者数は前年とほぼ同様の人数でした。設備投資を含めた何か新しいビジネス・チャンスを探している人が多い事が入場者数からうかがえます。

日頃、東京協組の皆様には大変お世話になっております。集荷の方が製本会社から古紙の回収をしているからこそ我々の仕事が成り立っており感謝をしております。本日は忌憚のない意見をお聞かせいただき情報交換をしたいと思っております。

坂田 副理事長 (東京都製紙原料協同組合)

本日は赤染理事長欠席のため、代わりに挨拶をさせていただきます。

日頃、皆様の会社へ私共の組合員が古紙の回収でお邪魔して大変お世話になっております。本日は忌憚のない意見交換をさせて頂ければと思っております。

製本業界の現状 (東京都製本工業組合)

書籍・雑誌・出版関係

1. 直近の新刊発行状況 (2018年1～5月)

① 雑誌 (月刊・週刊誌合計)

発行銘柄数 2,763点 (▲3.2%)

推定発行部数 77,262万冊 (▲11.5%)

推定発行金額 438,600百万円

(▲10.9%)、平均単価 568円 (0.9%)

コミックとムックが大幅に減少している。

② 書籍の新刊 (重版は含まず)

新刊点数 30,201点 (▲1.5%)

新刊推定発行部数 12,718万冊 (0.2%)

新刊推定発行金額 149,948百万円

(▲1.0%)、

新刊平均単価 1,179円 (▲0.8%)

相変わらず雑誌に比べると堅調。

「ざんねんないきもの事典」高橋書店や「持って歩きたい身近な野草・雑草図鑑」主婦の友などに代表される学習参考書や図鑑分野が堅調な一方、文庫・新書などは厳しい。

2. トピックス

報道されているように取次を中心とする出版物流が今危機に直面している。上記の報告数字でも明らかだが、雑誌部数激減の一方、多品種ロット化と配送先としてのコンビニ店舗数のさらなる増加により、相対的な積載率激減、運転手収入減と業務煩雑化、最後は輸送業者の廃業や撤退と言う負のスパイラルが止まらない。

我々製本業者も部数減少に伴う業績不振に加え、発売日集中による取次拠点での搬入待機時間の増大問題など、運送費の増大が経営に追い打ちをかける形となっている。

総じて元々出版物流は長年書籍の赤字を雑誌の大量発行で何とか補ってきた構造であり、それが根本から崩れつつある最近の動向は、取次を中心とする既存のサプライチェーンが曲がり角に差し掛かってきていることを示すと認識している。

商業印刷関係

商売が順調な会社でも、人材不足で仕事があっても仕事が出来ない状況が起きている。外国人研修

生を積極的に取り入れ不足を補っている。また、黒字のまま廃業する会社が増えている。

専門委員会より

カレンダーの制作が遅れている。

ノート業界が集約・再編されると本社の移転等で場所が変わり、仕事が減ってしまう問題が出てきている。

人材不足が取り沙汰されている。

紙製品・手帳関係

手帳の表紙に使うビニールを柔らかくするため、可塑剤を使います。フタル酸（可塑剤）を使う事により環境ホルモンに影響が出て、特に子供の成長ホルモンに影響を与えてしまう。アメリカではフタル酸は禁止になっており、輸出用ではノンフタル酸を使う事になっています。日本国内ではフタル酸とノンフタル酸の両方が流通しています。両方が混ざってしまい、さらに印刷インクの溶剤と混ざるとビニールが伸びて、しわくちゃになってしまう事故が発生します。

UV印刷とノンUV印刷が1冊の本の中で混在すると、紙の水分の収縮率が違いカールが酷い状況になってしまう。

古紙業界の現状（東京都製紙原料協同組合）

古紙全般及び産業古紙に関する現況

上田 直納部長

古紙業者は今年初めから5月連休のあたりまで、売れない、さばけない等、どうにもならない状況が続いていました。

中国が昨年末から古紙の輸入規制を行い、特にミックス古紙に関しては全面禁止となりました。以前は、中国向けの雑誌古紙は多少品質が悪くとも高値で輸出する事が出来ました。

この影響を受けて日本国内の古紙は値下げ傾向にあり、古紙問屋は洋紙メーカーからの値下げ要求に抵抗できず、集荷業者にも影響が広がってきています。

現在、輸出に関しては最悪の事態は脱し、荷物が動くようになってきました。GWをピークに古紙問屋の在庫は減少してきました。しかし、発生が悪くて、在庫が少ないのが問題となっております。

ただ、最近は若干、底が見えて来たので少し安心材料が広がっております。

産業古紙に関する現況

富澤 直納副部長

産業古紙の発生は低調状態が続いています。

中国は2015年にグリーンフェンスと言う政策を打ち出し、2017年に中国の輸入規制と繋がっています。中国の輸入規制は、選別を必要とするリサイクル原料は輸入しないと言う内容です。本来流れるべき物が流れなくなり、国内の古紙価格が徐々に下がってきています。

産業古紙については非常に先が明るく感じられます。パルプ代替として使われる物は価値を高めています。

現在、中国はパルプを多く買っており、パルプ価格が高騰しております。日本国内の大手洋紙メーカーは、自前のチップを使いパルプを製造して外販しております。そこで見直されているのがパルプ代替え古紙になります。

家庭紙メーカーもパルプ物と古紙物がシェアを奪い合っている状況で、なかなか増産に踏み切れない状態にあります。

集荷に関する現状

長井 集荷部長・鈴木 集荷副部長

集荷は発生が少なく大変厳しい状況です。今年3月、集荷業者に行ったアンケート内容を紹介いたします。

経営者からのアンケートで、5年前と比べて取引先数と数量は減ったと言う回答が一番多かった。5年先の予想推移でも、取引先数と数量は減ると言う回答が一番多かった。集荷業として思う事では、将来が不安で現状維持が出来れば良いが多かった。

気になる事では、アウトサイダー業者が集荷の取引先に、買取り価格を提示したチラシを配布して営業をかけているとの意見でした

集荷からのアンケートや製本業者からのデータを見ても、現状はまったくその通りです。この夏場に来て体感する不況感はもっと激しいものがあります。今まで1日2台満車だった車が1日1台になったとか、昼間に時間が空いてしまう事は集荷の人から沢山聞いております。

中国の輸入規制による集荷現場への影響は、選別が厳しくなっている事です。今までは、そのまま出荷していた物が手を入れないと出せなくなる。古紙の単価が下がってきている中で、手を入れるだけの手間賃が出せないのが現状です。

東京返本加工協同組合

第53回 通常総会開催

東京返本加工協同組合 事務局記

去る、2018年8月22日(水) 東京ドームホテルにて5階 『初音』の間に於いて東京返本加工協同組合 第53回(平成29年度)通常総会が16時から開催されました。

ご来賓として、出版共同流通株式会社 取締役所沢センター所長 中川秀行様、西川会計 代表

税理士 西川豪康様にご出席を賜り、渡邊理事の司会により総会が開会されました。

審議に先立ち、工藤理事長より冒頭、極暑の中ご参加いただいた御礼と皆様のご協力を賜り滞りなく総会を進行させていきたいと挨拶されました。

続いて司会者より、組合総数 18名、過半数を超える出席であり、今総会が成立した旨の報告がなされました。

議長選出では、「司会者一任」と会場からの声により工藤理事長が議長に選任され審議に入りました。



今総会では、第1号議案～第9号議案(①事業報告、②決算報告、③剰余金処分案、④事業計画案、⑤収支予算案、⑥借入金残高及び債務保証最高限度額、⑦加工手数料、経費の賦課、加入手数料、⑧理事及び監事改選、⑨役員報酬の案件)が提案され、全案件について議長並びに各理事より上程され、各議案とも全会一致にて原案通りに可決されました。

事業報告では、出版市況のダウントレンド影響で雑誌プレス加工量 前年比92.8%、組合直扱い分 前年比90.0%と、前年を下回る扱い量となりました。取次会社のプレス化促進情報をいただき、強い連携の維持継続を図ることで、プレス化率を安定的な水準に維持出来た事等が報告されました。

全ての議事終了後、ご来賓を代表して出版共同流通株式会社 取締役所沢センター所長 中川

秀行様より祝意と出版物の現況や新たな可能性を秘めたコンビニ一体型書店出店等について紹介いただきご挨拶を賜りました。

閉会の辞では、司会より進行協力への感謝が述べられ閉会致しました。

総会に引き続き開催された懇親会は、会場を42階『オリオン』の間に移し日本出版販売株式会社 執行役員 物流本部副本部長 高田誠様、東京都製紙原料協同組合 副理事長 坂田智様をはじめ日本出版販売株式会社様、出版共同流通株式会社様、総勢49名にご参加をいただき、上田理事の司会進行で総会懇親会が開催されました。



東京返本加工協同組合 藤川新理事長

開会に当たって、藤川新理事長より開会挨拶がなされ、厳しい状況の中ですが業界一体となって協力していきたいと挨拶があり、引き続きご来賓を代表して、日本出版販売株式会社 執行役員

物流本部副本部長 高田誠様、東京都製紙原料協同組合 副理事長 坂田智様よりご祝辞を賜り、出版共同流通株式会社 代表取締役社長 北林誉様の乾杯の音頭で開宴となりました。宴中、日本出版販売株式会社様、出版共同流通株式会社様、東京都製紙原料協同組合様、西川会計様、東京都中小企業団体中央会様よりご出席のご来賓の皆様のご紹介とご挨拶がありました。

余興として、「全国お取り寄せ名品」納涼ビンゴ大会が行われ、出席者の中から大勢の方々が当選され、満面の笑顔で商品を受け取られ、皆様から盛大な拍手がおくられていました。



東京都製紙原料協同組合 坂田副理事長

立食形式の会場では、各テーブルでいくつもの輪ができ、楽しい情報交換の場となりましたが、宴たけなわの中、齋藤副理事長の中締めの挨拶をもって19時50分にお開きとなりました。

お忙しい中、総会ならびに懇親会にご出席を賜りました皆様、誠にありがとうございました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

TPICO 個人情報保護体制制度

TPICO（ティピコ）とは

3年前、個人情報保護制度が施行され、個人情報を取り扱うすべての事業者は個人情報保護のための組織体制の構築が急務となっております。

地方自治体の個人情報保護条例は個人情報の取扱い件数に関わらず、違反に対しては行政指導の対象としています。製紙原料業界においても保護体制が必ず取引条件とされてきています。（出版社、印刷・製本会社からの要求など）

対策として自社の保護体制を示す必要がありますが、言葉やこれまでの実績だけでは、なかなか発注元に安心・納得して頂くことができなくなってきています。

ルールの策定については、自社で決定し保護体制の自己宣言をするだけでは、その有効性を対外的に示す場合、客観性に欠けます。そのためプライバシーマークのように第三者認定制度を活用することになりますが、これらの取得には労力と費

用面でかなりの負担となります。

このような状況を踏まえ、**当組合では組合員の皆様の個人情報保護体制の客観性を補完するために、組合独自の「個人情報保護体制制度」を導入し支援しております。**

tokyokyouso for privacy information conservation organization

T (東京協組) P (プライバシー・個人)

I (インフォメーション・情報)

C (コンサベーション・管理)

O (オーガニゼーション・協会)

内容は「東京協組 個人情報管理協会」となります。



認定条件ほか

(1) 組合主催の「認定取得セミナー」への参加
年1回

- ・講師：(株)コンサルティング・オフィス
- ・研修テキスト、サンプル規定集、CD-R
- ・認定講習会は6時間

(2) 認定講習会での支援内容と認定条件

- ・個人情報保護方針の策定
- ・個人情報保護方針についての社員教育の実施
- ・従業員との機密保持誓約書の締結
- ・委託先との機密保持契約書の締結
- ・規定類等の整備

- ①個人情報保護管理規定
- ②PC管理規定
- ③委託先管理規定
- ④入退室管理規定
- ⑤苦情相談取扱い規定 など

平成30年説明会と認定講習会

7月18日(水)に説明会が行われ、認定講習会を8月7日(火)と8月21日(火)に実施しました。受講参加者は2社2名でした。

資格取得者・維持更新研修会 (対象32社)

10月10日(水)午後4時30分～6時30分
又は10月23日(火)午後6時～8時のどちらかを受講(2時間) 場所：組合会議室

平成29年度資格取得者 11社

- 千代田支部： (株)起多邑
文京支部： (株)グリーン
(株)梨本
吉田商店
荒川支部： (有)杉沢正直商店
(株)廣田
和幸紙業(株)
足立支部： (有)片野商事
城南支部： 井出紙業(株)
むさし野紙業(株)
城北支部： (有)白崎商店

直納部委員会及び納涼会

東京都製紙原料協同組合 事務局記

日時：平成30年8月28日(火)

午後5時～直納部委員会

午後5時30分～納涼会

場所：根岸「宮川」 参加者：27名

昨年同様、根岸「宮川」に於いて直納部委員会と納涼会が開催されました。

午後5時から直納部委員会が始まりました。

上田直納部長の挨拶の後、各商社から輸出市況の説明がありました。中国による輸入規制問題の現状についての説明がありました。

その後は、ご来賓の坂田秀一郎顧問による乾杯のご発声で納涼会がスタート致しました。

宴席はいつものように大変に盛り上がり、和やかな雰囲気での閉会となりました。

製本工組・親睦ゴルフ大会

文京支部 梨本竜範

製本人懇親ゴルフ大会が6月9日(土)に川越カントリークラブにて行われました。東京都製本工業組合が組合員、従業員、関係会社等を集めて毎年この時期に行っているゴルフコンペです。今年は第40回大会でした。

当組合からは赤染理事長、安立理事、鈴木理事と私、梨本の4名で参加しました。参加者75名で夏の日差しのような暑さの中でのプレーになりました。組み合わせは毎年、同じ組合メンバーでプレーするのでリラックスしてゴルフを楽しむ事が出来ました。

プレー終了後パーティで成績発表があり、私はハンデに恵まれ9位になり賞品を頂く事が出来ました。最後に個々の成績は読み上げませんが当組合のベストスコアは安立理事の89で今大会のベストスコアは79でした。



青年部ゴルフコンペ

足立支部 近藤英彰

平成30年7月25日(水)、青年部のコンペを茨城県の常陽カントリー倶楽部にて行いました。参加者は3組計11名、常陽カントリーはカートが無いのでこの記録的な猛暑で少し不安だったのですが、幸運なことに当日は曇りでそこまでの暑さを感じませんでした。

工藤青年部部長にご挨拶を頂きまして記念撮影後、スタートからロングホールのドラコン。周りが失敗していく中で私が獲得してしまいましたが、次のショートではホールインワンまで10cmのところボールが乗るニアピン、大変気持ちいいスタートとなりました。

常陽カントリーは両サイドが松林のため、個人的にはショットが曲がる私は苦手としていますが、担当して頂いたキャディーの方のアドバイスが的確で、またメンバーにも恵まれて大変楽しくプレーすることができました。

優勝は、ゲストの杉浦珠美さん、準優勝は工藤部長という素晴らしい結果になりました。その後、上野の3153地下1階の銀座ライオンに移動し暑気払いを行いました。こちらはゴルフに参加できなかったメンバーも多く集まり、大変楽しい会になりました。



清風会研修会及び納涼会

東京都製紙原料協同組合 事務局記

清風会研修会及び納涼会は、昨年に引き続き上野・東天紅で開催されました。

研修会は、(有)古紙ジャーナル社 本願編集長から「中国の古紙輸入規制と今後の古紙需給の行方」についての講演を受けました。

各組合員の仕事に直結する問題なので、理事の方々は熱心に聞き入っていました。

講演終了後は理事から輸出に関する質問等が終了時間ぎりぎり迄ありました。

研修会終了後は、本願編集長にもご参加頂き納涼会を開催しました。

今回の納涼会より、長年、会長職を務められた

坂田秀一郎様が退き、近藤 勝前理事長が会長に就任しました

いつものように総会後の慰労を兼ね、お酒に料理に会話にと楽しい時間を過ごしました。又、恒例のカラオケでは、参加者が自慢の喉を披露していました。

今後もこの会が続いていくようお願いながら宴の幕が下りました。

支 部 便 り

台東支部 総会を開催

台東支部 近藤達也

去る平成30年4月26日(木)上野中華料亭「翠鳳」にて平成30年度台東支部総会を開催しました。

本部から赤染理事長、齋藤総務部長にお越し頂き、支部員10名が出席しました。近藤昌和支部長を議長に選出し、すべての議案が承認され、無事修

了致しました。

総会終了後の懇親会は、高級感があり落ち着いた雰囲気のある個室で、齋藤総務部長の乾杯で始まりました。

四季折々の旬の食材を使用したコースを頂きながら美味しいお酒となりました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、近藤國宏さんの一本締めで閉会となりました。



山手支部研修旅行を開催

山手支部 篠田定義

時折雨が降る天候でしたが、暑くもなく寒くもない日に鈴木支部長を初め6名で福島県郡山に研修旅行に出かけて来ました。

観光で四季の里緑水苑に出かけて来ました。約3万坪におよぶ庭園を散策しましたが、貸し切り状態の様で他にお客さんがいませんでした。私達は出口がどちらか分からなくなり迷い少し焦りましたが、これも後に良い思い出になりそうです。



夜の宴会は、長井理事の乾杯の音頭で始まり、大変盛り上がり親睦を深めてまいりました。参加していただきました皆様ありがとうございました。来年も研修旅行を予定しております。支部員の皆様の参加ご協力よろしくお願いたします。

組合員の広場

組合事業紹介・事業部

(都市近代化事業協同組合の事業について)

ETCカード

指定の高速道路が割引運行出来ます。又、**首都高速が割引で利用出来る事になりました。**

(ご利用の場合は新しいカード作成が必要です)

ポイント可の高速道路でポイントが貯まると、その**ポイント分が無料走行**で使えます。

①「ガソリンカードのご利用」について ご存知ですか？

組合では、皆様のお仕事に少しでもお役にたてるよう色々な事業に取り組んでおります。

ここのところガソリン価格が高騰しております。

組合では、皆さまがお使いになっているトラックや乗用車のガソリン代を少しでも安く購入できる事業があります。

都市近代化事業協同組合が行っている事業を通じてガソリンを購入されますと・・・**全国平均と比べてハイオク・レギュラーガソリンが約3円ほど安く、軽油が約9円ほど安く購入できます。**

(その時の価格変動により大きく値動きがある事がありますが、あらかじめご了承ください)

専用のカードを作り、該当するスタンドで使用すると自動的に割引料金でカード決済されます。

*ETCカード、ガソリンカードのいずれも、東京都製紙原料協同組合に加入されている組合員の

皆さまの特権です。

ご希望、ご質問は組合事務局までご連絡ください。

共同購入についてのお知らせ

プレス機のオイル交換について

共同購入委員会

組合を通じて通常より格安での交換が可能となります。

過去に実施した事業所では、処理のスピードや細かな対応について高い評判を頂いております。

見積もりを取って比較した結果を見て頂けると分かりますが、**1,000リッターのオイル交換で約5万円近い差が出ております。**

どうぞこの機会に是非、ご利用くださいますようお願い致します。

手続きは簡単です。組合にご連絡いただき「プレス機オイル交換申込書」を受取り、必要事項をご記入し組合宛てにお送り下さい。交換時のレートは2ヶ月に1度変更されますので実施時にレートをご確認願います。尚、給油条件により追加金が発生する場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

組合事業及び共同購入連絡先

東京都製紙原料協同組合

電話 03-3831-7980

FAX 03-3831-7880



♪ことわざミニ知識♪

水魚の交わり（すいぎよのまじわり）

水と魚の関係のように、非常に親密な友情や交際を喩えている言葉。

類語：刎頸（ふんけい）の交わり・・・たとえば首を切られても悔いなくらいの親しい交際

類語：管鮑（かんぼう）の交わり・・・菅仲（かんちゅう）と鮑叔牙（ほうしゅくが）が変わらぬ友情を持ち続けたという。

類語：莫逆（ばくげき）の交わり・・・逆らうこと莫（な）し

「古紙用語」

今月号より新たに古紙に関する「古紙用語」を掲載致します。知ってるつもりでも、説明を求められると自信がなかったり・・・そんな時にお役に立てればと思い企画致しました。

◆坪上げ業者

印刷工場など産業古紙の発生先のことを坪先、それを回収する業者のことを坪上げと呼ぶ。かつて発生元の工場内に1坪程度の裁落古紙を落としてストックするスペースがあったことから坪先と呼ばれるようになった。

◆逆有償

古紙価格が値下がりし、回収業者（あるいは問屋）が発生元（スーパーや物流センターなど）に対して、回収コストをカバーするために対価を要求する行為。90年代後半から2000年前半にかけて、雑誌古紙の仕入れ時にみられた現象。この場合も古紙は廃掃法上の「専ら物」であるため、廃棄物扱いとはならない。

◆直納業者

直納業者（直納問屋）とは、古紙を製紙メーカーに直接販売する権利を有する事業者のこと。これに対して代納とは、直納業者を通じてメーカーに販売する事業者。かつて直納問屋は限られ、特権性もあったが、国内メーカーによる古紙の大量消費とともに輸出市場が開けたことによって、直納の重みも薄れてきた。

◆シングルストリーム

家庭から古紙を回収するにあたって、ビン、缶、プラスチックなどの資源物を混載したまま、回収する方法。MRFと呼ばれる大規模選別施設で各品目に選別して出荷する。欧米ではシングルストリームが一般的で、古紙の回収率を押し上げた反面、異物が混じりやすい品質の低さが課題となっている。

支部スケジュール

千代田支部

支部会 11月12日（月）菜の家

支部会・忘年会 12月10日（月）菜の家

文京支部

支部会 10月18日（木）大塚すし常

支部会 11月19日（月）東明飯店

忘年会 12月18日（火）場所未定

台東支部

忘年会 11月 日にち場所未定

荒川支部

支部会予定は未定

足立支部

支部会予定は未定

山手支部

支部会 10月19日(金) 鮎やなぎ

支部会 11月19日(月) 鮎やなぎ

支部会・忘年会 12月15日(土) 鮎やなぎ

城南支部

日帰りバス旅行 10月28日(日)場所は未定

江墨支部

支部会予定は未定

城北支部

支部会10月11日(木) 場所 赤羽

11月・12月は休会

お 知 り せ

[10月会議・催事予定]

10月 3日(水) 共販輸出検討委員会(pm4:00~)

〃 常任理事会 (pm4:30~)

理事会 (pm5:30~) 組合会議室

10月10日(水) 清風会 小見川東急ゴルフクラブ

千葉県香取市 集合(am8:00)

スタート out(am8:53)

〃 TPICO 更新維持研修

(pm4:30~6:30) 組合会議室

10月14日(日)~17日(水) 直納部主催・海外研修

中国・広州「サインドラゴン(玖龍紙業)」の工場視察

10月23日(火) 古紙センター関東地区委員会

(pm2:00~) センター 会議室

〃 TPICO 更新維持研修

(pm6:00~8:00) 組合会議室

10月24日(水)~25日(木) 青年部研修会

丸住製紙(株)大江工場・愛媛パルプ協同組合

10月25日(木) 古紙センター業務委員会(pm2:15)

〃 全原連役員会 (pm3:15~)

センター会議室

[古紙価格]

[東資協の古紙4品の標準売値]

平成30年8月9日現在

新聞 8円~12円(横ばい)

雑誌 5円~8円(横ばい)

段ボール 8円~11円(横ばい)

色上(並) —

会議概要 [6月・7月]

6月度定例理事会

[平成30年6月5日(火)] 於) 組合会議室

出席理事21名・監事1名

[理事長挨拶]

第6回通常総会では理事の皆様のご協力頂き、大変盛り上がった総会になった事を感謝いたします。

先日、関東商組の総会前の研修会で、輸出業者より講演がありました。その中で、日本品のOCCに大量の金属が入っていたため輸出品がシップバックされたとの事でした。故意ではないにせよ、これからは特に品質の安定には心がけないといけないと痛感しました。本日も沢山の議題がありますのでよろしくお願い致します。

[各部報告]

[総務部]

第6回通常総会及び第56回永年勤続従業員表彰にご協力いただき有難うございました。

[直納部]

6月度の共販輸出は、上物では1社からの入札が入り、2社から辞退の申し出がありました。その結果、国内より低い価格だった為、スキップ(入札見送り)となりました。

裾物では段ボールで1社からの入札が入り、2社

から辞退の申し出がありました。その結果、日本紙パルプ商事（株）がタイ向けに国内より高い価格で落札しました。業者からのコメントでは「中国ライセンスの影響で、タイからの引合いは強い」との事。

ミックスに関しては、輸出業者3社共に辞退の申し出があり入札不可となりました。

市況は、国内洋紙メーカーの新聞、雑誌、段ボールの古紙在庫は満杯状態です。中国国内では古紙が不足しており、需要はあるが国策の関係で輸入が制限されている。

[新聞・雑誌・段ボール] 新聞古紙の発生は引き続き少ないが、国内メーカーは在庫をいっぱい持っている上、上期にはシャットダウン（工場運休）の継続もある為、今後しばらくは使用量のみで購入に限定され需要は弱含みと予想されます。価格も弱含みとなっております。

雑誌古紙の発生は年度末で多少、好調であった。需給状況は弱含みで、問屋在庫・メーカー在庫は共にいっぱいの状況。

段ボール古紙の発生は安定している。他品種と同様、メーカー各社の在庫はいっぱいの状況。段ボール原紙の生産は堅調であるものの、シャットダウン（工場運休）を控えている事からメーカーは古紙発注量の調整を行っています。輸出は思うように出来ていない。

[上物] 家庭紙メーカーは製品在庫も原料在庫も多い状態にあります。パルプ価格が上昇しており、パルプ物を扱う家庭紙メーカーは5月に打ち出した製品価格が徐々に浸透して、古紙物を扱う家庭紙メーカーに影響を与えてくるのではないかという期待感が出ています。メーカーは、原料在庫が多いため原料価格に対する下げムードが少しずつ強くなってきています。

[返本] 返本は前年対比80%後半前後。4月の出版売上は全体でマイナス9.2%、書籍がマイ

ナス2.3%、雑誌がマイナス15.8%でした。雑誌がまったく売れない状況となっています。

[集荷部]

発生は良くない。中国へ輸出が出来なくなったミックス古紙が国内へ廻ってきており、選別するのに大変な状態です。

今後は逆有償について検討する可能性を含め、現在は様子見の状況であります。

[広報部]

広報部は現在、広報誌6月号の作成中です。誌面は第62回通常総会が中心となり、各支部で行われる支部総会についても掲載予定です。他には集荷部アンケートの掲載、青年部総会の模様、及び業務部長の今年度の抱負等を掲載予定です。

[青年部]

6月19日（火）青年部部会を組合会議室で開催予定です。

[支部報告]

千代田： 7/9 納涼会 文京：6/18 支部会
荒川： 6/10・11 支部旅行「越後湯沢」
山手： 6/19 支部会「やなぎ鮎」
城南： 6月後半に支部会開催予定
城北： 7/10 支部会

[審議・検討・報告事項]

1. 報告・連絡事項

静岡県紙業協会家庭紙部会・組織変更：

井出会長 → 新会長 中村真一郎（日本製紙）

2. 組織変更

山手支部：王子浮間古紙センター（株）

代表 村山孝生 → 変更後・代表取締役社長 諸隈 令介（平成30年4月）

集直合同委員会

平成30年6月14日(木) pm 4:30～
於) 組合会議室

参加者15名(直納部 10名、集荷部 4名、
事務局 1名)

家庭紙部会との懇談会で行う市況報告についての
話し合い。

・上物古紙について

42社の5月上物在庫データで家庭紙向け古紙在
庫が増加している。理由は前年の古紙在庫が非常
に少なかったため。

日本の上物古紙は品質が良い。

今後の発生は増えていかない。上物古紙価格は変
わらない。

・裾物古紙について

裾物の5月在庫は新聞・雑誌は減少。段ボールは
増加している。

輸出量が減少している。理由はコンテナが不足し
ている。商社はシップバックを恐れている。

雑誌古紙は品質を良くすれば中国は受け入れる。

・家庭紙製品について

現在は、荷動きが悪く製品在庫は多いが家庭紙製
品の値崩れはしていない。

まとめとして、家庭紙原料の発生は悪いが、在庫
は昨年より多い。

秋需に向け適正な在庫レベルを保っている。

以上の状況を家庭紙メーカーに報告する。

***6月18日(月)に予定していた静岡県紙業協
会家庭紙部会との懇談会は、大阪の地震により新
幹線が不通となり急遽、中止となりました。**

古紙センター業務委員会

[平成30年6月15日(金)] pm2:15～
於) 古紙センター会議室

[1] 定時評議会報告について

[2] 臨時理事会報告について

[3] 古紙の需要・市況動向について

*ページ数の関係により割愛させていただきます。

古紙センター関東地区委員会

[平成30年6月19日(火)] pm2:00～
於) 古紙センター会議室

[需要動向] 18/4月 単位トン、

()は対前年同月比、在庫の()は在庫率

[関東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	50,743(90.6%)
	出荷	51,917(91.8%)
	在庫	9,942(19.1%)
[雑誌]	仕入	48,205(92.4%)
	出荷	50,777(95.5%)
	在庫	13,640(125.2%)
[段ボール]	仕入	145,949(104.8%)
	出荷	144,489(103.7%)
	在庫	22,287(15.4%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	168,351(82.2%)
	消費	190,825(93.8%)
	在庫	144,515(75.7%)
[雑誌]	入荷	123,693(117.4%)
	消費	118,492(114.9%)
	在庫	56,555(47.7%)
[段ボール]	入荷	314,589(94.6%)
	消費	317,419(103.7%)
	在庫	129,138(40.7%)

【業者側コメント】**【新聞・雑誌・段ボール】**

・32社報告の5月古紙仕入は前月比、前年比で段ボールは増加、新聞・雑誌は減少した。在庫は前月比、前年比で新聞、雑誌は減少し、段ボールは増加した。

・三紙会報告の5月古紙仕入は前月比で3品ともに減少し、前年比で段ボールは横ばい、新聞・雑誌は減少した。6月の仕入は前年比で段ボールは横ばい、新聞・雑誌は減少する見通しである。

【上物古紙】

・5月の上物古紙在庫はDIP向け模造・ケントを除き前年比で増加した。在庫は全体的に余剰感があるが、長期的には減少傾向である。7月の富士地区の休転等を控え、夏場の在庫管理は慎重に行う必要がある。

【メーカー側コメント】

・5月の新聞の発注は休転を行ったメーカーは抑制気味だったが概ね横ばい。入荷は計画通り、消費は新聞の増配もあり増加し、在庫は減少した。6月の発注は概ね横ばい、入荷・消費は横ばい、在庫は横ばいから微減の見通しである。7月の発注は休転するメーカーもあり、6月の在庫状況を鑑み、発注を調整する見通しである。

・5月の雑誌の発注は新聞と同様、休転を行ったメーカーは抑制気味だったが概ね横ばい。入荷は計画通りから順調、消費は段ボールからの振り替えにより増加したが、在庫は増加した。6月の発注は横ばい、入荷は計画通り、消費は5月同様、段ボールからの振り替えのため計画通りから増加、在庫は減少する見通しである。

・5月の段ボールの発注は抑制から横ばい、入荷は順調、消費は雑誌への振り替えがあり、抑制気味だが概ね計画通り、在庫は横ばいとなった。6月の発注は横ばい、入荷は順調、消費は雑誌への振り替えのため抑制から計画通り。在庫は横ばい

の見通しである。7月の発注は富士地区の休転のため調整する予定である。

7月度定例理事会

[平成30年7月6日(金)]於上野・東天紅6階「飛鳥の間」
出席理事18名・監事0名

【理事長挨拶】

本日は理事会終了後に清風会研修会が開催されます。今、皆さんが関心をお持ちの「中国の古紙輸入規制と今後の古紙需給の行方」がテーマとなっております。今後、世界的に環境問題が厳しくなると考えられます。中国は人口が多く紙の需要が増えていますが供給が充分でなく、今後も紙のさらなる生産が必要になると考えられます。したがって、古紙業界はまだ伸びるチャンスがあると個人的には思っております。本日も沢山の議題がありますのでよろしくお願い致します。

【各部報告】**【直納部】**

7月度の共販輸出は、上物では1社から入札があり、2社から辞退の申し出がありました。その結果、国内より低い価格だった為、スキップ（入札見送り）となりました。

裾物は段ボールが1社から入札があり、2社から辞退の申し出がありました。その結果、日本紙パルプ商事（株）がタイ向けに国内より高い価格で落札しました。業者からのコメントでは「AOC Cがタイへ流れたこともあり、タイからの引き合いは弱い」との事。

ミックスに関しては、輸出業者1社から入札があり、2社から辞退の申し出がありました。その結果、国内より低い価格だった為、スキップ（入札見送り）となりました。

輸出業者の中にはシップバックの影響で消極的な業者が一部ある。国内市況は上物を含め値下げ傾向が強くなってきている。家庭紙メーカーはパル

プ価格が上昇しており、パルプ物での生産は難しい状況。

[新聞・雑誌・段ボール] 新聞古紙の発生は引き続き減少し、チラシは21ヶ月連続の減少。

雑誌古紙の発生は低調だが、国内の需給は弱含み。段ボール古紙の発生は安定している。在庫は減少しており余剰感は緩和されつつあります。

[集荷部]

発生は良くない。7月に入っても印刷・製本関係は暇で仕事が少ない。

[広報部]

広報誌6月号がお手元に届いたと思います。8月30日に広報委員会を開催し、9月号の打ち合わせと今後の広報部の進め方について話し合いたいと考えています。

ホームページの更新について業者に再度、指示したいと考えています。バナーの活用についても再度、賛助会員に確認を取りたいと思います。

[青年部]

7月25日(水) 青年部ゴルフコンペを開催します。

9月24日～25日で研修旅行を計画。四国の丸住製紙を訪問予定で検討中。

[審議・検討・報告事項]

- 9月の東資協との懇談会の日程決めについて
候補日・・・9/19(水)
- 8月1日(水)開催、古紙関係協議会について担当決め・・・別紙資料通りで実施
- TPICO説明会・認定講習会・維持更新研修会について・・・資料 2
・説明会・・・7月18日(水)
pm5時30分～6時30分 組合会議室
・認定講習会・・・8月7日(火)pm6時～9時
及び8月21日(火)pm6時～9時 組合会議室
・更新研修会(32社が対象) ①10月10日(水)pm4時30分～6時30分

又は②10月23日(火)pm6時～8時のどちらかに参加 組合会議室

- 「古紙市場の現状」古紙仕入れ先配布用・・・支部長より支部員へ配布。希望があれば組合印の押印可能。
- 直納部主催・海外研修案「平成30年10月14日(日)～17日(木)」・・・過去に訪問した場所を含め検討する。
- 大同生命保険(株)上野支店より取扱い保険の説明・・・理事会開始前に説明があった。
- 組合脱退の報告：荒川支部 赤石商店 廃業により平成30年7月31日付で脱退予定。脱退届は後日、FAXする。

古紙センター関東地区委員会

[平成30年7月25日(水)] pm4:00～
於)古紙センター会議室

[需要動向] 18/6月 単位トン、

()は対前年同月比、在庫の()は在庫率

[関東商組32社実績]

[新聞]	仕入	49,042(89.5%)
	出荷	50,029(89.1%)
	在庫	8,955(17.9%)
[雑誌]	仕入	43,827(91.8%)
	出荷	48,280(97.6%)
	在庫	9,187(19.0%)
[段ボール]	仕入	142,716(102.6%)
	出荷	150,283(107.0%)
	在庫	14,720(9.8%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	153,137(76.9%)
	消費	179,291(90.3%)
	在庫	117,333(65.4%)

[雑誌]	入荷	121,499(115.9%)
	消費	125,146(112.3%)
	在庫	51,920(41.5%)
[段ボール]	入荷	316,124(96.2%)
	消費	342,648(102.7%)
	在庫	102,614(29.9%)

[業者側コメント]

[新聞・雑誌・段ボール]

・32社報告の6月古紙仕入は前月比で3品ともに減少、前年比で段ボールは増加、新聞・雑誌は減少した。在庫は前月比で3品ともに減少、前年比で新聞・段ボールは増加し、雑誌は前年並みとなった。

・三紙会報告の6月古紙仕入は前月比・前年比で3品ともに減少した。7月の仕入は前年比で段ボールは前年並み、新聞・雑誌は減少する見通しである。

[上物古紙]

・6月の上物古紙在庫はDIP向け模造を除き前年比で増加した。6月、7月は古紙の発生が振るわず、前月比では在庫が減少している。

[メーカー側コメント]

・6月の新聞の発注は横ばい、入荷・消費は計画通りで、在庫は減少した。7月の発注は横ばいから増加、入荷は低調、消費は計画通りで、在庫は6月よりも減少する見通しである。

・6月の雑誌の発注は横ばい、若しくは前月までの在庫が多かったメーカーや休転で発注を落としていたメーカーが一部調整から戻した。入荷は計画通り、消費は段ボールからの振り替えにより増加し、在庫は減少した。7月の発注は増加から横ばい、入荷は低調、消費は横ばいから増加、在庫は減少する見通しである。

・6月の段ボールの発注は概ね横ばい、入荷は前

半が順調、後半は低調であった。消費は順調、在庫は微減となった。7月の発注は富士地区の休転や8月の休転を控え調整から横ばい、入荷は低調、消費は順調、在庫は計画的に減少となる見通しである。8月の発注は休転をするメーカーもあり横ばいや調整となる見通しである。

古紙センター業務委員会

[平成30年7月26日(木)] pm2:15～
於)古紙センター会議室

- [1] 集団回収実施団体への感謝状贈呈(静岡地区委員会推薦)
 - [2] 第7回日中古紙セミナーについて
 - [3] 紙リサイクルセミナーについて
 - [4] 海外古紙情報について
 - [5] 平成30年7月～12月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画
 - [6] 古紙の需要・市況動向について
- *ページ数の関係で割愛させていただきます。



広報誌 表紙写真募集の件

広報部

皆様には日頃より組合活動にご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて広報誌の表紙は、従来、特定の組合員様のご協力で写真を提供して頂いて参りました。

しかしながら諸般の事情により、今後その写真の利用ができなくなりました。

そこで、組合員の皆様から表紙を飾る写真を公募したいと思います。下記の要領で、奮って写真をご応募ください。お待ちしております。

募集要項

募集写真：白黒またはカラー写真

焼き付け または 添付ファイル

題 材：風景、季節、催事を扱ったもの

提出時期：随時

募集写真提出先：

〒110-0016 東京都台東区台東3-16-1

東京都製紙原料協同組合 事務局

TEL 03-3831-7980

FAX 03-3831-7880

E-mail：info@kosi-tokyo.or.jp

編集後記

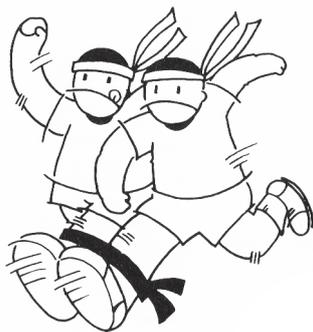
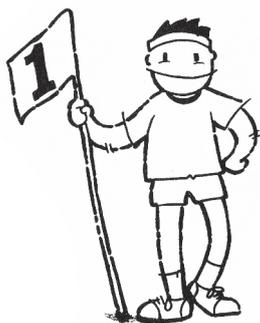
広報部副部長 高橋宏明

今年は、6月に梅雨が明け暑い夏のはじまりでした。特に7月下旬から8月上旬の数日は「40℃」超えという酷暑が続き、気象庁では「屋外での作業は命の危険です」という報道も有る中「仕事を休む」事も出来るわけもなく、出来ることはこまめに水分補給を取っていても、また、暑さに負けない「気合い」と「我慢」だけではなく太刀打ち出来ない夏で、外作業だけではなく屋内作業も我々業界には厳しい夏でした。

また、暑さに慣れて来ると「34℃」「35℃」と聞くと今日は「涼しい」と感覚がマヒしている事にもビックリしています。

今年は「台風」や「大雨」など水難災害も多く、また西日本豪雨災害など各地で災害に遭われた方にお見舞い申し上げます。

組合員の皆様もまだ暑い日が続くと思いますのでお体には気をつけてください。



組合総合名簿の協賛広告について

広報部

この度は、組合総合名簿の協賛広告にご協力いただき誠にありがとうございました。

広報誌では名簿作成の際に協賛広告にご協力頂きました企業・団体に対し1回ずつ無料で広告掲載をさせていただきます。掲載の順番や掲載ページは、こちらの都合で行いますのであらかじめご了承ください。(広告を掲載した号の広報誌は、該当の企業・団体にお送りいたします)

尚、**有料での掲載も可能ですので、ご希望の際は組合までお申し出ください。料金等は次のようになります。**

<広告料金について>

広報誌は、1月号、3月号、6月号、9月号、11月号の年5回発行しております。

掲載と同じ2分の1ページの広告を掲載した場合
年1回の掲載：14,000円

年2回の掲載：26,000円(13,000円×2回)

年3回の掲載：36,000円(12,000円×3回)

年4回の掲載：44,000円(11,000円×4回)

年5回の掲載：50,000円(10,000円×5回)

掲載ページにつきましては広告数によりますが、最終ページに近い順に掲載する予定です。

お申し込みは、東京都製紙原料協同組合

電話 03-3831-7980

FAX 03-3831-7880

マーケットとともに、 時代を呼吸する

— 新時代の紙流通の担い手 < T K K > —

大王製紙代理店



東京紙パルプ取引株式会社

本店	東京都中央区京橋3-14-6
〒104-0031	TEL (03) 3562-7200 (代表)
大阪支店	大阪府大阪市中央区高麗橋4-5-2
〒541-0043	TEL (06) 6233-7161 (代表)
名古屋支店	愛知県名古屋市中区錦3-4-6
〒460-0003	TEL (052) 951-8310
九州支店	福岡県福岡市博多区博多駅前1-14-16
〒812-0011	TEL (092) 472-3300



私達は、地球環境問題を重要な課題のひとつとして位置づけ、次の世代に豊かな地球を引き継ぐことをめざします。

日商岩井紙パルプ株式会社

本社 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-11-30

TEL (03) 6234 - 6350 (代表)

HP <http://www.nipap.co.jp>

大阪支社・九州支店

丸紅ペーパーリサイクル株式会社

『丸紅ペーパーリサイクルは、総合商社「丸紅」の信用力・総合力
ネットワークを活かした持続可能な古紙調達システムをご提案いたします。』

<http://marubeni-pr.com/>

代表取締役社長 井原信之

本社

〒103-6060

東京都中央区日本橋二丁目7番1号

TEL:03-3282-4497 FAX:03-3282-4136

大阪営業所

〒530-0004

大阪府大阪市北区堂島浜1丁目2番1号

(新ダイビル)

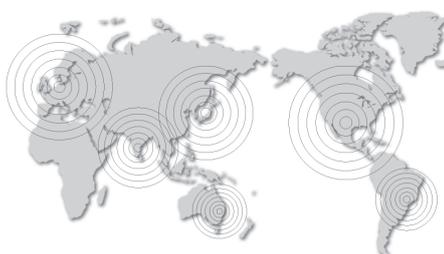
TEL:06-6347-3507 FAX:06-6347-3508

OVOL

紙、そしてその向こうに。



私たちはビジネスパートナーの皆様の
頼れる水先案内人として、
「紙」と、その先を見据えた明日へ航行してまいります。

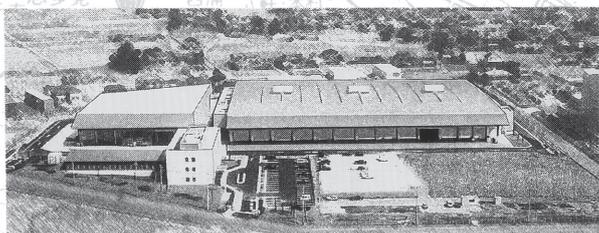


日本紙パルプ商事グループ

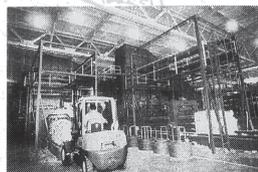
www.kamipa.co.jp/



**協同組合
東京雑誌リサイクルセンター**



組合員の事業経営の近代化
合理化を推進し経済的地位の
向上のためにがんばっています



プレス処理

本社 東京都新宿区東五軒町6番21号
理事長 藤井康夫
TEL03-3816-2299 FAX03-3811-1589

加須事業所 埼玉県加須市川口4丁目13番地
東京ロジスティクスセンター内
TEL 0480-66-2340 FAX0480-66-2202

〈出版共同流通株式会社〉は『共に手を携えて業界改革を実現する』
という志を掲げ出版取次5社が集まり設立された会社です。
信頼性の高い『無伝票返品システム』の実現で業界SCMの構築が可能となり、
〈書店～取次～出版社～運送会社〉の互いの協力により“返品物流が一層効率化”されました。

蓮田センターでは“雑誌の古紙化・再資源化”を
さらに推進して参ります。
リサイクルの積極的な推進により循環型社会の実現へ、
貢献して行きます。

**一冊でも多くの本がもう一度資源へ!
そしてまた本へと生まれ変われるように。**



出版共同流通は、出版取次の日本出版販売、大阪屋、栗田出版販売、日教販、太洋社の5社と、
講談社、小学館の出版社2社の共同出資により、2002年4月に設立された、業界の期待を担い続けている会社です。

出版共同流通株式会社

- 蓮田センター 〒349-0131 埼玉県蓮田市根金1464番地1号 TEL.048-767-1800 FAX.048-767-1804
- 所沢センター 〒359-0011 埼玉県所沢市南永井619番地15号 TEL.042-951-8400 FAX.042-951-8411
- 新座書籍センター 〒352-0011 埼玉県新座市野火止6丁目17番地12号 TEL.048-489-5240 FAX.048-481-3408

一冊でも多くの本がもう一度資源へ! そしてまた本へと生まれ変われるように

読者の手に届くことなく、書店やコンビニエンスストアでその役目を終えて
しまう書籍や雑誌。出版業界では出版物流における返品物流の合理化・省力
化が実現、出版物の一元管理が行われ返品物流の効率化が飛躍的に向上し
ました。従来の「どこから、どんな本が、どれだけ来たのか」というデータ管
理は重要な事ですが最大のポイントは『どんな紙質が、どれだけ使われてい
て、どのような用途の紙にリサイクルできるのか』ということなのです。
古紙利用は省エネルギー及び森林資源保護の観点の上でも大切な役割を
担っています。近年わが国でも古紙の利用率は約60%に達し、先進諸国の
中でも最高水準といえます。

日本全国からの返本雑誌を紙質ごとにより精密に仕分け、良質なプレス加工
を行い、日々400t、年間12万tを古紙化処理する。雑誌の古紙化、再資源化
することにより本格的な循環社会の現実へ貢献する。それがTOM(東京返
本加工協同組合)の大きな役割です。



TOM 東京返本加工協同組合

理事長 藤川 達郎

- 本 部：〒110-0016 東京都台東区台東3丁目16番1号
- 事業所：〒349-0131 埼玉県蓮田市根金1464番地1号 出版共同流通(株)蓮田センター内
TEL.048-767-1820 FAX.048-767-1821

NIPPAN

日販は、書店店頭での
読み聞かせ会
「おはなしマラソン」の
輪を広げています。

おはなしマラソンは、読み聞かせによって子どもたちに
本や物語の楽しさを伝え、未来の読者を育てようという試みです。
人と本の出会いの場である、書店店頭から親子で本に親しみ、
本を読む幸せな時間をお届けしています。

詳しくはホームページをご覧ください。

http://www.nippan.co.jp/ohanashi_marathon/

日本出版販売株式会社

〒101-8710 東京都千代田区神田駿河台 4-3

業界屈指の実績を誇る

KAWAGUCHI



オートマチックペーラー

小型機械～大型機械各種



川口紙工機械株式会社

本社・工場 〒332-0023 川口市飯塚1丁目4番36号 電話 川口(048)252-3448-9番
第二工場 〒332-0001 川口市朝日4丁目1番26号 電話 川口(048)222-3746番
大阪代理店 〒562-0015 大阪府箕面市稲1-7-14(坂口機械) 電話(0727)23-2744番

URL : k-sikou.co.jp e-mail : beler@k-sikou.co.jp



tam
東京自働機械

処理スピードと独自のアイドルストップで、消費電力を極限まで削減!!

省エネNo.1ベラー誕生!



Weco

TAMベ어링システムRSEシリーズ

お問合せ 株式会社 東京自働機械製作所

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3丁目10番7号(東自機ビル)

URL: <http://www.tam-tokyo.co.jp>

工場/〒277-0885 千葉県柏市西原7-3-1 04(7152)2282

TEL 03(3866)7188

Mail balersystem@tam-tokyo.co.jp

コートーは 信頼、アフターサービスで実績を重ねます



- ★使用に合わせた積載台
 - ・埋込式 ・地上式 ・極薄型
- ★操作性を重視した各種指示計
 - ・標準計量 ・多種計量
- ★用途に合わせた出力
 - ・PC処理 ・マニフェスト発行

営業品目

1. トラックスケール
2. 台はかり
3. 吊りはかり
4. ホッパースケール
5. 関連機器
6. 各機器保守 点検、検査、修理、オーバーホール



有限会社 コートー 衡器

千葉県四街道市鹿放ヶ丘141番地1

TEL 043(304)2561

FAX 043(304)2562

e-mail: kohtokouki@cronos.ocn.ne.jp

ShinMaywa
Brighten Your Future

時代を先取り、 シンガタ咲いた。

「今」の時代に求められるものを先取り、
ボディデザインに、機能の細部に写し出す。
こうして生まれ変わった、新しい圧縮式塵芥車[G-PX]。
ここから、次がはじまる。この先に、実りがある。



車両イメージは GT042-5434
※オプション含む

「積込モード切換スイッチ」を標準装備し
一般ごみから資源ごみ(ダンボール等)まで
1台で積み込みが可能

G-PX

新型2・3・4トン車級

新明和工業株式会社
<http://www.shinmaywa.co.jp>

特装車事業部 営業本部 東京営業部
〒110-8620 東京都台東区東上野5-16-5
☎(03)3842-6120 FAX(03)3842-6128

神奈川営業所 〒230-0003 横浜市鶴見区尻手3-2-43 ☎(045)572-3412
多摩営業所 〒190-0012 東京都立川市曙町2-34-13 ☎(042)526-3731
千葉営業所 〒260-0824 千葉市中央区浜野町990-1 ☎(043)264-7961

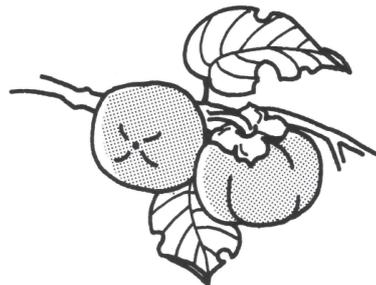
賛助会員の入会特典

入会されますと次のような特典があります。

1. 組合広報誌を毎月贈呈
 2. 広報誌に無料で広告掲載が出来る。
 3. 広報紙面において加入後1回に限り、賛助会員紹介として企業紹介・事業紹介をする事が出来る。
 4. 賛助会員の共同購入事業を詳しく紹介するための講習会を実施する事が出来る。
 5. 年1回、組合総会の懇親会に参加する事が出来る。その他についても計画中です。
- 賛助会員にご加入希望の方、及び、入会のご紹介をいただける方は組合事務局へご連絡ください。詳細についてご案内致します。

現在、下記5社の賛助会員が在籍中です。

1. 丸大食品(株)
2. 矢崎エナジーシステム(株)
3. (株)F-SUNツーリストジャパン
4. コマツカスタマーサポート(株)
5. ユナイテッド・インシュアランス(株)



1. 製紙原料・仕入営業の強い右腕になりたく思います。
どうぞよろしくお願ひします！

2. 経営者様の「お役立ち」のためのアドバイザー集団です。
経営者様に寄り添って、各経営課題をソリューションし、
ともに歩むパートナーとなることを目指しています。

アドバイス 研修 セミナー 助成金・補助金 自動車保険
ビジネスマッチング コスト削減 リスクマネジメント



総合保険代理店

ユナイテッド・インシュアランス株式会社

担当：マーケット開発 迫田 真魚

〒330-0062 埼玉県さいたま市浦和区仲町4-2-20

TEL 048-836-2701 FAX 048-836-1370

<https://www.utdi.co.jp>

担当は、あなたの
知っている「迫田」
です。



低燃費を考えよう。
CO₂削減を考えよう。
現場の操作のしやすさを考えよう。
大きなフォークリフトも。
小さなフォークリフトも。
考えて、考えて、考えて、つくるんだ。

Global Teamwork
KOMATSU

徹底的な低燃費を実現した、
待望の8tフォークリフト、誕生。
エンジンは、コマツの最新テクノロジーを凝縮した「新世代クリーン
エンジン」。建設機械で培った技術を結集した「電子制御HST」を搭載。
高負荷作業時の燃料消費量を、最大30%削減することに成功しまし
た。高い操作性はそのままに、8tクラスでありながら、低燃費にこ
だわる。ランニングコストも抑える。考えて、考えて生まれた、
これからのフォークリフトです。

FH80-2

環境性能に優れたバッテリーフォークには、
パワーと耐水性を。
環境性能、経済性だけでなく、長時間稼働まで実現したバッテリー
フォークリフトFEシリーズに、待望の3t車がラインアップ。徹底した防
水設計、防塵設計により、バッテリーフォークリフトでありながら、アウ
トドアのタフな現場でこそ、力を発揮します。また、急速充電も可能。
コマツ独自のテクノロジーが、
バッテリーフォークリフトの
古い常識を、変えていきます。

FE30-1

コマツカスタマーサポート株式会社

東京カンパニー
本社 〒210-0869 神奈川県川崎市川崎区東扇島5番地

**海外・国内旅行のご相談は是非、株式会社F-SUNツーリストジャパンに
海外は特に、カンボジア、ベトナム、タイ、ミャンマー、ネパールの手配が得意です！
国内は、東北、九州など復興支援に力を入れており得意です！是非お問合せ下さい！**



アンコールワット(カンボジア)



水上人形劇(ベトナム)



ヒマール(ネパール)

F = FRIENDSHIP (旅を通して友好・友情を深める)
F = FLEXIBLE (順応性のある・融通のきく旅行手配)
F = FAMILY (家族のようにお客様をお迎えする旅行手配)
SUN = (太陽のように明るく光り輝く会社を目指す)

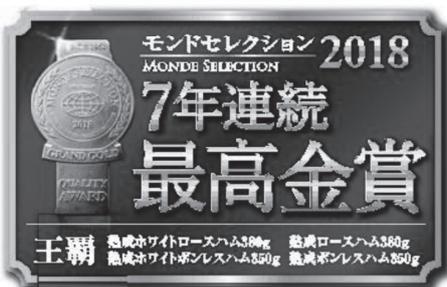


株式会社F-SUN ツーリストジャパン(東京都知事登録旅行業者代理業 11247号)
 〒141-0022 東京都品川区東五反田 4-10-9 シャトレー五反田2B 担当:小林・横山
 TEL:03-5422-7530 FAX:03-5422-7532 E-MAIL:info@fsun.co.jp http://www.fsun.co.jp

丸大食品

一年中、お取り扱いギフトも特別価格にて、ご案内致します。

丸大食品株式会社
東日本特販営業課
 〒135-0051 東京都江東区枝川 2-23-2
 TEL 03-3647-3270
 FAX 03-3647-3274



真心を込めて

「心に残る贈り物」

丸大食品

年間広告掲載会社のご紹介

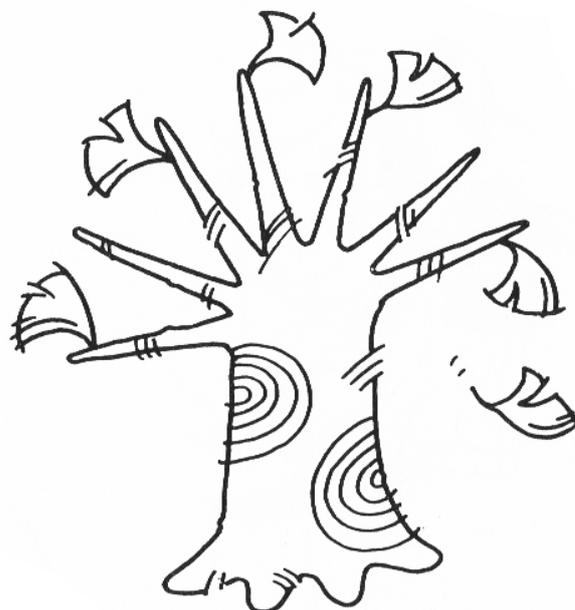
広報誌では、組合総合名簿の協賛広告にご協力頂きました企業・団体に対し1回ずつ2年に渡り、無料で広告掲載をさせて頂いております。

その中の1社である**矢崎エナジーシステム**(株)より年間掲載(有料)のお申し込みを頂いております。有難うございました。

又、賛助会員でもあります。

どうぞこの機会に皆様も有料広告掲載をご検討いただきますよう宜しくお願い致します。

お申込みや料金等の詳細につきましては、広告先頭ページのご案内をご参照ください。



車載式積載重量計 LI

LI は様々な車輛へ 後付可能 な計量器



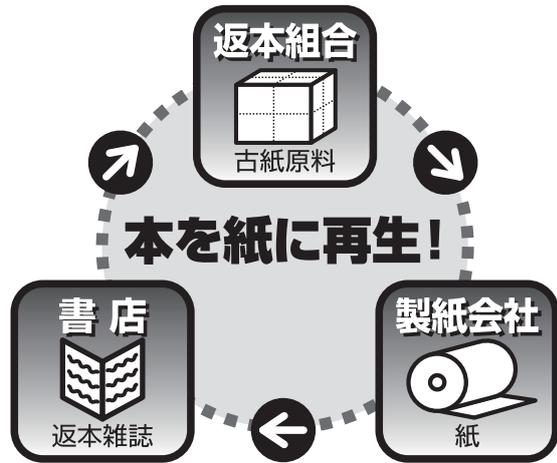
矢崎エナジーシステム株式会社

TEL:03-5782-2703 FAX:03-5782-2737

〒108-0075 東京都港区港南1-8-5 Wビル6F

各地域担当がおります。お気軽にお問合せ下さい。

日本最大級の古紙原料生成施設で循環社会に貢献する



東京返本加工協同組合
Tokyo Overissued Magazine Processing Cooperative

理事長 藤川達郎

蓮田事業所

埼玉県蓮田市根金1464番地1号 出版共同流通(株)蓮田センター内
電話:048-767-1820 FAX:048-767-1821

【HP】 <http://www.henpon.or.jp>

田中のトラックスケール (台貫)

四大特徴
正確な計算・堅牢な構造
簡易な操作・目安目盛付
完全なアフターサービス



創業 明治36年
通産大臣賞受賞

株式会社 田中衡機工業所

本社 〒955-8691 新潟県三条市福島新田丙2318-1
TEL 0256-45-1251・FAX 0256-45-2204
東京支店 〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-6-7
TEL 03-3263-4531・FAX 03-3262-6918

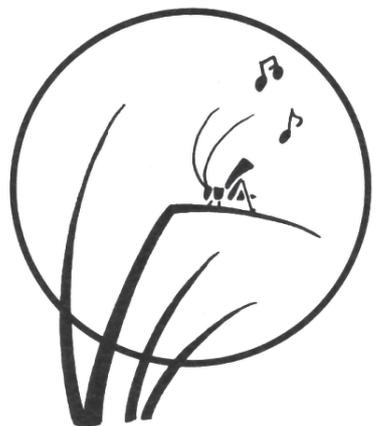
営業品目

- ① 裁落用麻袋 (八手大袋)
- " " (六手中袋)
- ② " PP (新袋)
- " " (再生袋)
- ③ バンインダー用布袋 (新袋)
- " " (再生袋)
- ④ 1 屯 バッグ (新袋)

その他御注文に応じます
気軽に御相談下さい。

司麻袋工業株式会社

本社 東京都足立区中央本町1-7-16
TEL (3849) 2968 (代表)
ハシクのフクロヤ



ベラー番線

最良の品質・防錆OK

ートラブル、ロスが少ないー
50K・100K・500K・1000K

吾 坂野興業株式会社

東京本社 TEL 03-3718-7311
FAX 03-3724-8170
浦安営業所 TEL 0473-54-6531
FAX 0473-51-5201
静岡営業所 TEL 054-624-1101
FAX 054-624-6704